スロットルキット
TYPE－EVO
取扱説明書

ご使用になる前に必ずお読みください。また本書は製品を破棄するまで大切に保管してください。

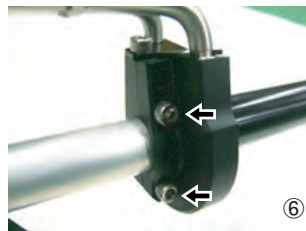
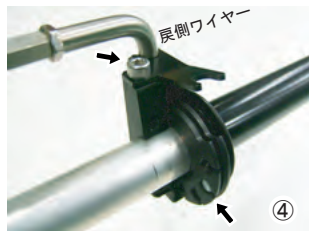
■展開図

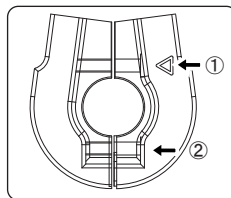
■構成商品表

No	品　名	個　数
①	スロットルホルダー/引側	1
②	スロットルホルダー/戻側	1
③	スロットルパイプ	1
④	ワイヤーブラケットセット（※1）	1
⑤	アジャスタブルワイヤーセット（引・戻）	1
⑥	ワイヤーホルダー	1
⑦	グリップ（左右セット/※2）	1
⑧	キャップボルト M5X20	2
⑨	キャップボルト M5X10	1

※1：車種別キットには2種類付属
※2：グリップ長は115mmです

■取り付け手順

1) スロットルパイプにワイヤーブラケットを差し込みます。（お好みのサイズを選択します）
2) 引・戻のそれぞれのワイヤーを車体側のスロットルボディに取り付けます。
（車種別キットは車種別取扱説明書を参照し長さを確認ください）
3) 組み立てたスロットルパイプASSYをハンドルに差し込み、戻側ワイヤーのタイコをスロットルパイプに引っ掛けます。　（車種別キットは取扱説明書を参照してください）
4) スロットルホルダー/戻側に、戻側ワイヤーを差し込みワイヤーホルダーで仮止めします。
5) 引側ワイヤーのタイコをスロットルパイプに引っ掛けワイヤーホルダーに差し込みます。
（車種別キットは取扱説明書を参照してください）
6) スロットルボディ/引側を取り付け、ボルトで取り付けます。（下記取り付け注意事項を参照してください）
7) ワイヤーのアジャスト部でワイヤーの遊び調整を行います。
（調整できない場合はスロットルパイプのタイコ取り付け位置を変更してください）
8) ホルダーの各ボルトを本締めします。

■取り付け時の注意事項

●ホルダー固定手順：△（三角）ロゴのある側①を先に締め付けて取り付けてください。
（締め付けトルク：5.0Nm）
締め付け不良は、スロットルパイプの作動不良につながる恐れがあります。

■ワイヤー遊び調整範囲

●アジャスター部

⚠ 注　意

ホルダー部：最大10mm

⚠ 警　告

- ご使用ごとに各部を点検し以下の症状が見られた場合は直ちにご使用を中止し、新品と交換してください。
  - ※ スロットルホルダー本体に変形・損傷・磨耗・欠落・腐食がある場合
  - ※ ワイヤーに変形・損傷・磨耗・欠落・腐食がある場合
- 商品の加工は施さないでくだ さい。(強度が落ちる恐れがあります)
- クレームに関しては商品に不良があった場合に限り、お買い上げ後1週間以内を限度として修理及び交換させていただきます 。 但し、商品以外の損失・損害についてはその責を負いかねますのでご注意ください。

作業後の点検項目

- スロットルを開閉し作動確認をしてください。
  - (動きの悪い場合は、再度組み直してください)
- スロットルを開閉しスロットルホルダーが動かないことを確認してください。
  - (動いてしまう場合は、再度組み直してください)
- ハンドルを左右に動かし作動確認をしてください。
  - (ワイヤーの動きが悪い場合は、ワイヤーの取り回しを変更してください)
- スロットルボディ(キャブレター又はインジェクション)が全開・全閉になってることを確認してください。
  - (全開・全閉しない場合は、再度組み直してください)
- グリップが動かないことを確認してください。
  - (動いてしまう場合は、接着剤を使用し取り付けてください)
  - (接着剤は、接着剤に添付されている使用説明書に従って使用してください)
  - (グリップ取り付け後は、接着剤が乾くまで数時間放置してください)
- スロットルの遊び量を確認してください。
  - (1.5mm～3.5mmほどに調整してください)
- ワイヤーの張り調整は確実に行ってください。
  - (戻側は特に注意してください/作動不良の原因になります)

⚠ ご 注 意

- 作業を行う際は、必ず水平な場所で車両を安定させた安全な状態で作業を行ってください。
- ノーマル右ハンドルスイッチが、スロットルとスイッチが一体式の場合は、薄型スイッチ(別売)等を使用してください。
- ワイヤーは無理にねじったり強く折り曲げないでください。
  - (変形・損傷をうけたワイヤーは作動不良の原因になります)
- ノーマルのスロットル開閉度より狭くなり、よりシビアなスロットル操作が必要になる場合があります。
  - (使用される方ご自身で、慣れるまでは全開走行等行わないでください)
- ワイヤーの各アジャスト部は最大調整範囲を超えて使用しないでください。
  - (破損・変形・作動不良の原因になります)
- 定期的な点検及び分解清掃・給油は必ず行ってください。
  - (作動不良の原因になります)
- 転倒などにより損傷・変形したままでの使用はしないでください。
- ワイヤーブラケットの径を大きくすると開度が狭くなると同時にスロットル開閉が重くなります。

本製品の内容は平成24年02月現在のものです

製品に関するご不明な点やご質問がございましたらお気軽に当社までお問い合わせください

〒470-0117　愛知県日進市藤塚七丁目５５番地
TEL 0561-72-7011（代）　FAX 0561-72-7012
ホームページ・http://www.acv.co.jp
E-メール・　info@acv.co.jp

120225KIT00

スロットルキット
車種別専用
取扱説明書

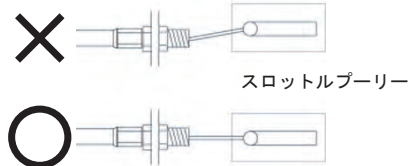
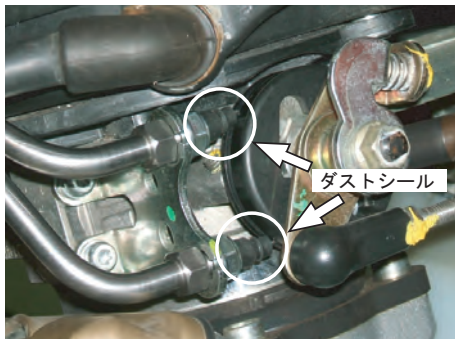
DUCATI
1098系

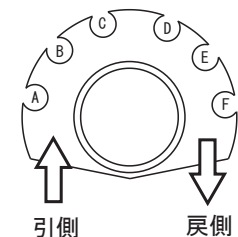
ご使用になる前に必ずお読みください。また本書は製品を破棄するまで大切に保管してください。

■取り付け注意事項

①サイドカウル、アンダーカウル等を取り外します。
②バッテリーボックスを固定している3本のボルトを取り外し、バッテリーボックスをずらします。
③エアクリーナーケース前部にあるケーブルガイドを取り外し、ノーマルスロットルASSYを取り外します。

④インジェクションボディ側にワイヤーを取り付けます。
（インナー長が引側：75mm/戻側：93mm）
⑤下図を参照して使用するスロットルパイプの大きさに合わせてスロットルパイプにワイヤータイコを取り付けます
⑥スロットル側を組み立てます
ワイヤーの遊び調整をして、取り外した外装を組み立てます

※スロットルホルダーは純正と同様に下側に取り付けます

スロットルワイヤーがスロットルリンケージと直線になる様に金具部分を固定して下さい。スロットル側の金具がラジエーターやファンに接触しない位置で固定して下さい。

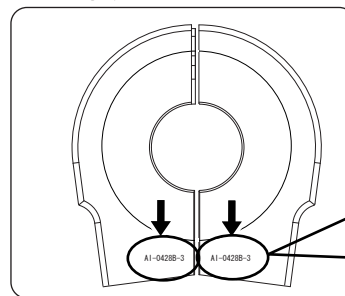
※注意事項
スロットルワイヤーをインジェクションボディ金具に取り付けた場合に、ワイヤーのダストシールがスロットルリンケージに接触する車両は、ダストシールを取り外してください。

■スロットルワイヤータイコ取り付け位置

φ36/38/40　　AとC　（φ36/38にはFの位置に穴はありません/5穴）
φ42/44/46・　AとD

上記の位置を基準に取り付けを始めてください。

■ワイヤー遊び調整範囲

●専用ワイヤー

■注意事項

● 1098系はハンドル径（φ22.0）が国産車輌より小さいため
スロットルボディ（グリップ側）に印字してある番号「AI-0428B-3」で
末番が”-3”以降の物を使用してください。
末番が”-2”以前の物を使用しますとハンドルに固定できません。

本製品の内容は平成24年08月現在のものです

製品に関するご不明な点やご質問がございましたらお気軽に当社までお問い合わせください

〒470-0117　愛知県日進市藤塚七丁目５５番地
TEL 0561-72-7011（代）　FAX 0561-72-7012
ホームページ・http://www.acv.co.jp
E-メール・　info@acv.co.jp

120730KIT00